

## 有明工業高等専門学校

明石 剛二(有明工業高等専門学校)

有明工業高等専門学校は昭和38年に創立された国立の高等教育機関です。創立当時は、機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科体制(各学科40名)で熊本県荒尾市の仮校舎でスタートしました。昭和41年に現在の福岡県大牟田市に校舎が移転され、昭和44年に建築学科(40名)を新設し、4学科体制となりました。さらに、平成元年に電子情報工学科(40名)が新設され、5学科体制へと移行しました。

平成28年に機械工学、電気工学、電子情報工学、物質工学、建築学の5学科を創造工学科の1学科に再編しました。また、平成13年には専攻科(生産情報システム工学専攻、応用物質工学専攻、建築学専攻)を設置し、高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。

ここでは、以下、簡単に本校の特色などを紹介させていただきます。

### 1. 本校の所在

本校は大牟田・荒尾の各駅から約5km離れた萩尾台(福岡県大牟田市)にあり、近くに三池山・小岱山の四季の緑、遠くに有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。寄宿舎は、学校から歩いて5分程度のところにありながら、熊本県荒尾市に属し、校舎と寄宿舎の所在地が福岡、熊本両県に跨る非常に珍しい高専です。



図1 校舎と寄宿舎の所在地が福岡県(大牟田市)と熊本県(荒尾市)に跨ります

大牟田市は三池炭鉱関連施設を有しており、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産にも認定されています。本校から車で5分程度の位置に「三池炭鉱宮原坑」があります。また、有明海に面する三池港には閘門(こうもん)があります。閘門は、船渠内の水位を干潮時でも8.5m以上に保つため内港との間に設けられた水門で、横幅20.12m、縦幅37.51mで、周辺は花崗岩を積み上げ、底にも同質の石張りが行われていました。このような近代化産業遺産を身近に感じられる地に本校はあります。



三池炭鉱宮原坑

三池港(上空から)



図2 本学の近隣にある近代化産業遺産(三池炭鉱宮原坑(左)と三池港(右))

## 2. 学校の概要

「進取創造」、「和神養素」、「友愛協調」を校訓として、国立工業高等専門学校の第2期校として設立されました。学科編成としては、創立当初は3学科で始まり5学科体制となり、平成6年に工業化学科を物質工学科に改組し、その後、現在の1学科体制となりました。

### 昭和38年(1963年)国立高専の2期校として設立

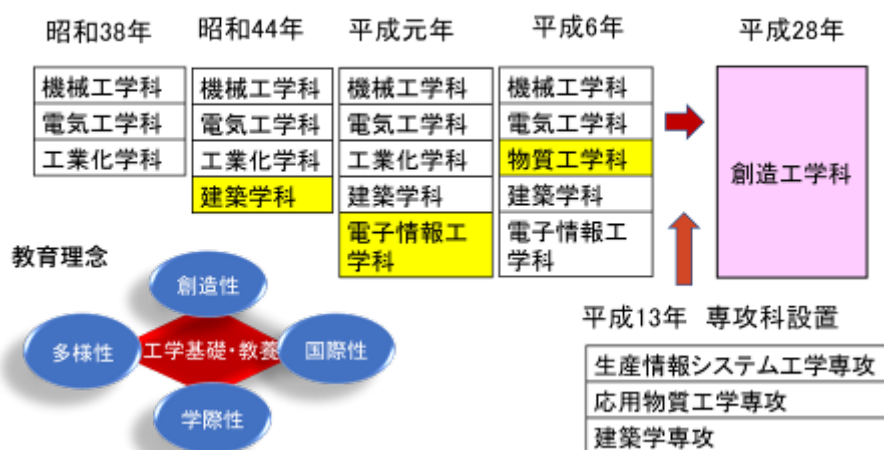


図3 本学の学科編成の変遷

現在の創造工学科は、環境・エネルギー工学系(エネルギー、応用化学、環境生命の各コース)と人間・福祉工学系(メカニクス、情報システム、建築の各コース)の2系6コースで構成され、2年生後期から、各コースに分かれます。

定員	40名	20名	20名	40名	40名	40名
	環境・エネルギー工学系			人間・福祉工学系		
5年	エネルギーコース	応用化学コース	環境生命コース	メカニクスコース	情報システムコース	建築コース
4年						
3年						
2年						
1年						
2年生後期よりコース決定 創造工学科(200名)						

図4 本学の2系6コース

令和3年4月1日現在の教職員数は118名(教員72名、事務・技術職員46名)で、本科在学生1061名、専攻科在学生57名の教育に取り組んでいます。本科女子学生の割合は約27%で、全国高専の平均より高いことも本校の特徴の一つです。本年度末に向けて、現在女子棟の建て替えが進められています。これまでに本科卒業生は8,294名にのぼり、各分野において広く社会の期待に応じて活躍しています。専攻科修了生は483名を輩出し、高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。卒業後の進路は、本科においては約7割が就職で、残り3割が進学となっています。専攻科では就職・進学がほぼ半々となっています。

### 3. 学生生活

本校を訪れた人は、「緑に囲まれ、本当に静かな恵まれた教育環境だ」と口にされます。そのような環境の中で、学生は自主的に自己形成に努めることによって、科学的知見を人間の生活に役立つ「もの」として実体化し、価値を生み出すことに喜びを感じ、技術を通じて人類の繁栄に貢献することに誇りと自負をもち、将来の日本を背負って立つ技術者を目指して、のびのびした学生生活を送っています。



図5 本学におけるいろいろな学生生活

また、高専祭など学生が主体的に取り組んで実施している行事は大変な盛り上がりを見せています。約7割の学生が体育系・文化系のクラブに所属するなど課外活動も盛んです。また、コミュニティFM「FMたんと」では、企画・番組制作を学生自身で行って放送しています。



高専祭でのステージ

コミュニティFM「FMたんと」の放送スタッフの学生たち



図6 本学の学生が主体的に取り組んでいる活動の例(高専祭(左)とコミュニティFM(右))

#### 4. 地域や社会との連携

地域との連携の一環として、本校の地域共同テクノセンターと地元企業などで組織されている「有明広域産業振興会」を中心に技術連携に取り組んでいます。また、本年度から産学連携マッチングラボ制度を導入し、より地元企業との連携を推進しています。

小中学生や一般市民を対象とした公開講座や出前講座に加え、「女性技術者講演や座談会」などのイベントを実施する「リケジョ発掘・育成プログラム」は、大牟田・荒尾の両教育委員会と連携を図り、取り組みを進めています。また、久留米高専、熊本高専と連携し、JSTジュニアドクター育成塾「高専ハカセ塾」を実施し、小学5年生から中学3年生を対象とした“九州発「地球規模の視点を有する次世代傑出人財」発掘・育成プログラム」にも取り組んでいます。



公開講座

高専ハカセ塾



図7 本学の地域や社会との連携活動の例(公開講座(左)と高専ハカセ塾(右))

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.45

(C)著作権:2022 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門